

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和3年 6月 29日

（宛先）岡 崎 市 長

提出者

住 所 岡崎市日名北町4番地1

氏 名 ユニチカ株式会社 岡崎事業所

事業所長 野田 靖

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0564-22-8452

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ユニチカ株式会社 岡崎事業所 (一体管理している日本エステル(株)岡崎工場を含む)
事業場の所在地	岡崎市日名北町4番地1
計画期間	令和3年度(令和3年4月～令和4年3月)
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	合成繊維製造業
②事業の規模	655000万円/年(製造品出荷額、前年度実績) 日本エステル(株)岡崎工場: 1059979万円/年
③従業員数	268人(日本エステル(株) 246人)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
別紙のとおり		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
1 現状	【前年度(令和 2年度)実績】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t t
	(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	別紙のとおり	

②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙のとおり
-----	---

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
1 現状	【前年度（令和 年度）実績】 —		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 —		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
1 現状	【前年度（令和 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	468 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3,608 t	466 t
	(これまでに実施した取組) ・排水処理については、脱水・乾燥により減量化を行っている。 ・廃油についても、安定運転に取り組んでいる。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行う	0 t	450 t

	産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	3, 360 t	448 t
	(今後実施する予定の取組) ・汚泥については、引き続き安定化による、汚泥発生量の抑制に取り組む。 ・廃油については、現状を維持する。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
1 現状	【前年度（令和 年度）実績】 ー		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 ー		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（令和 2年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t

		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)			

(第5面)

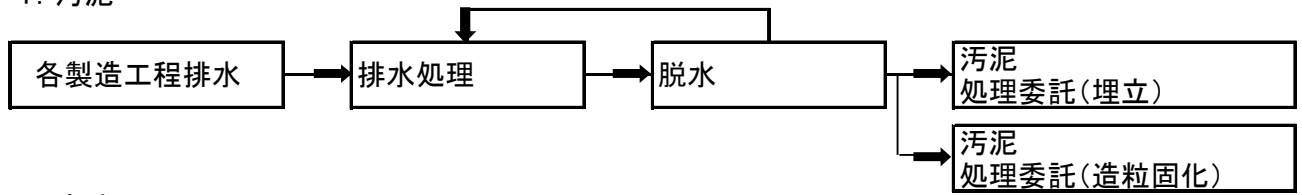
②計画	【目標】 別紙のとおり			
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量		t	t
	優良認定処理業者への処 理委託量		t	t
	再生利用業者への 処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄				

備考

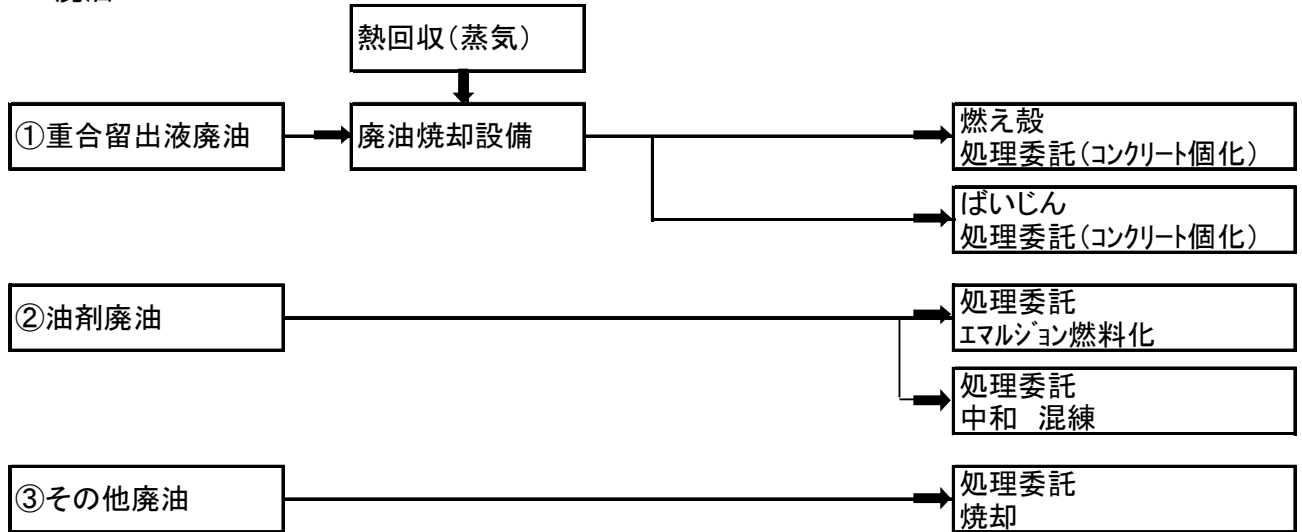
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1 産業廃棄物の一連の処理の工程

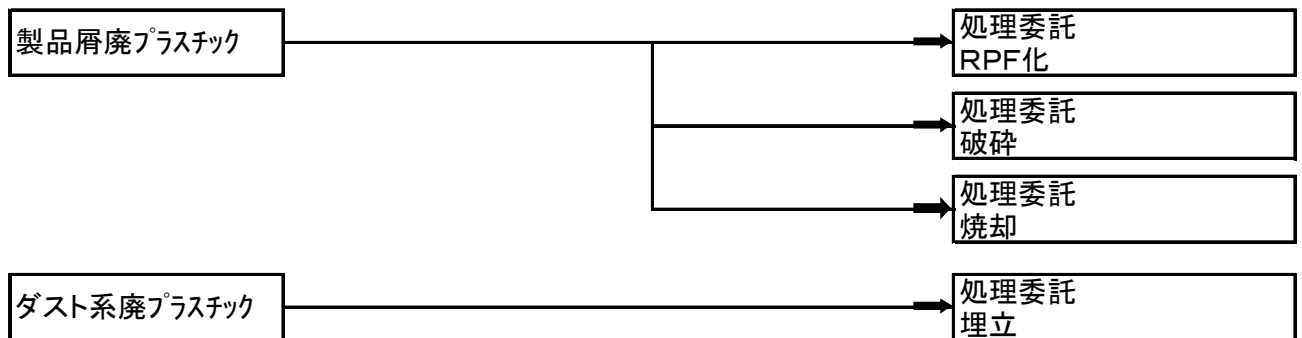
1. 汚泥



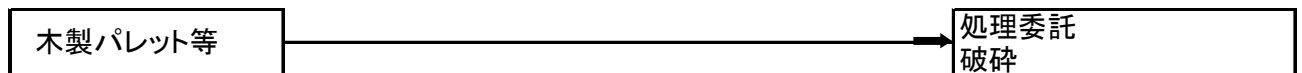
2. 廃油



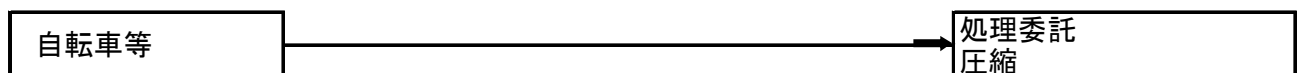
3. 廃プラスチック



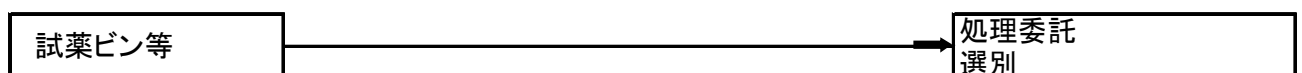
4. 木屑



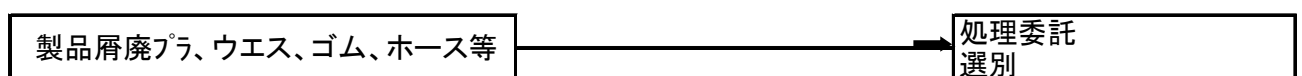
5. 金属屑



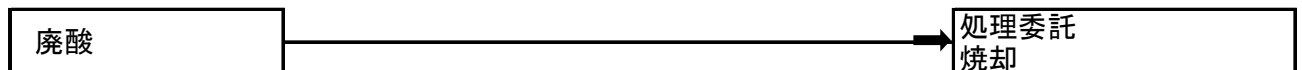
6. ガラス・陶磁器屑



7. 混合物 (廃プラスチック類、木屑、ガラス・陶磁器屑・金属屑)



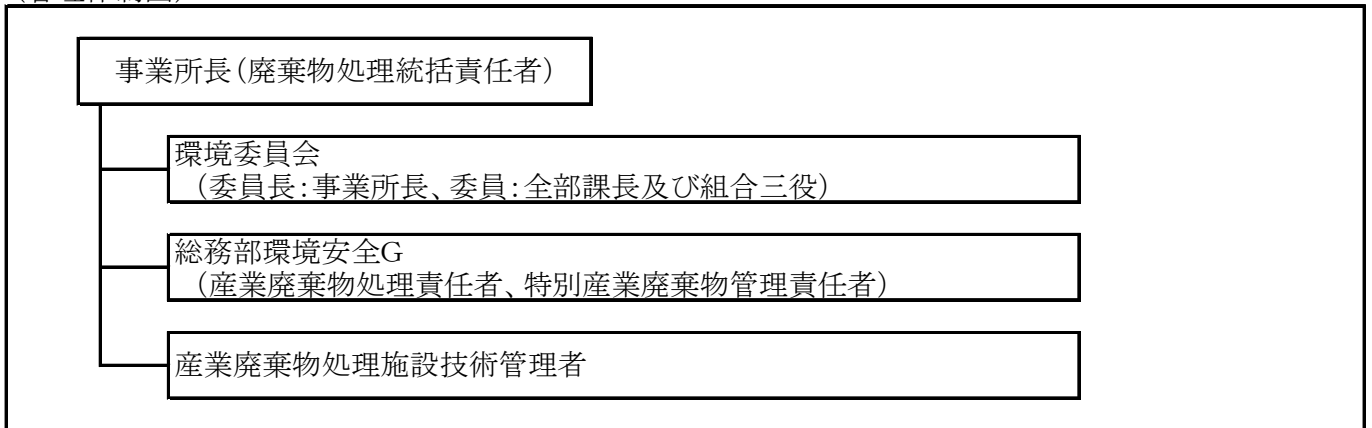
8. 廃酸



別紙2

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和2年度)実績】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	木屑	金属屑	ガラス陶磁器屑	混合物	廃酸	
	排出量	3,821 t	728 t	1,693 t	90 t	27 t	2 t	449 t	0 t	
	(これまでに実施した取組)									
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内の各現場において、製品原単位を向上させることに因る、排出量の抑制。 ・自部署の廃棄物がどのような処理をしているか、意識付けを行う。 									
② 計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	木屑	金属屑	ガラス陶磁器屑	混合物	廃酸	
	排出量	3,553 t	700 t	1,642 t	95 t	10 t	2 t	440 t	1 t	
	(今後実施する予定の取組)									
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内の各現場において、製品原単位を向上させることに因る、排出量の抑制に取り組む。 ・分別の可能性を検討する。 									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・発生現場において、廃プラスチック類を中心に分別に取り組んでいる。 ・各現場から直接産廃業者に渡すことにより、分別意識を高める。
② 計画	(今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・新たなリサイクル方法がないか、新規業者の開拓を含め、用途拡大に取り組む。

別紙3

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①		【前年度(令和2年度)実績】								
現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	木屑	金属屑	ガラス 陶磁器屑	混合物	廃酸	
	全処理委託量	213 t	262 t	1,693 t	90 t	27 t	2 t	449 t	0 t	
	優良認定処理 処理委託量	96 t	143 t	1,383 t	0 t	0 t	0 t	377 t	0 t	
	再生利用業者 処理委託量	116 t	224 t	1,365 t	90 t	27 t	0 t	336 t	0 t	
	認定熱回収業 処理委託量	0 t	36 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	認定熱回収業 熱回収を行う業 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	(これまでに実施した取組) ・廃プラスチック類の分別による、再利用可能化に取り組んでいる。 ・廃プラスチック類を適正に処分できるように計画的に処分している。									
②		【目標】								
計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	木屑	金属屑	ガラス 陶磁器屑	混合物	廃酸	
	全処理委託量	158 t	252 t	1,642 t	95 t	10 t	2 t	440 t	1 t	
	優良認定処理 処理委託量	3 t	137 t	1,348 t	0 t	0 t	0 t	360 t	1 t	
	再生利用業者 処理委託量	120 t	215 t	1,354 t	95 t	10 t	1 t	345 t	0 t	
	認定熱回収業 処理委託量	0 t	35 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	1 t	
	認定熱回収業 熱回収を行う業 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組) ・再生利用する産業廃棄物処理業者へ委託を行い、最終処分量の削減を図っていく。 ・廃プラスチック類は処分方法が適切か見直していく。									